

科目名 (英)	キャリア教育講座Ⅳ Professional careers seminar Ⅳ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大島 和美・中村 美雪
学科・コース	パティシエ科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期 水曜日 4時限
【授業の学習内容と心構え】 担当教員は、ビジネスセミナー会社の企業研修講師として10年間ビジネスシーンでの基本知識（挨拶・身だしなみ・敬語・所作・来客対応・電話応対）を担当した実務経験を持つ有資格者で、授業では社会人として必要なビジネスマナーを活かしたプレゼンテーション技術を習得する授業を行います。							
【到達目標】 社会人として必要な3つのマネジメント力（セルフマネジメント・チームマネジメント・プロジェクトマネジメント）を説明することができる 社会人基礎力を実行することができる PDCAサイクルについて考えることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 学生便覧・その他各授業毎に指示				【授業外における学習			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 社会人デビューに向けて（話の聞き方・傾聴スキル） 【授業形態】 講義 【到達目標】 話し方・聞き方・第一印象の重要性/傾聴スキルを身に付け聞き上手になる事が出来る/聞き方・伝えかたの工夫（伝えたと伝わったは違う事を理解出来る）			9	【授業単元】 社会人デビューに向けて（社会常識①） 【授業形態】 講義 【到達目標】 Office機器の名称と役割/数え方		
/				/			
2	【授業単元】 社会人デビューに向けて（話し方の工夫） 【授業形態】 講義 【到達目標】 ヒアリングが出来る 演習：他己紹介で他者を好印象にする			10	【授業単元】 社会人デビューに向けて（社会常識②） 【授業形態】 講義 【到達目標】 伝統的な行事について		
/				/			
3	【授業単元】 社会人デビューに向けて（形成合意/コンセンサス） 【授業形態】 講義 【到達目標】 妥協や我慢ではなく合意出来る話し方の工夫 他者を傷つけない否定の仕方 演習：コンセンサスゲームを実施する			11	【授業単元】 社会人デビューに向けて（社会常識③敬語） 【授業形態】 講義 【到達目標】 敬語基礎 丁寧語・謙譲語・尊敬語		
/				/			
4	【授業単元】 業界コラボレーション 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ヴァローナ講習会 チョコレートの特性について理解する			12	【授業単元】 卒業に向けて・スケジュール確認 【授業形態】 講義 【到達目標】 冬休みの過ごし方、卒業制作スケジュールの最終確認 これまでの学校生活を振り返り、卒業に向けて心構えをする		
/				/			
5	【授業単元】 業界見学 【授業形態】 講義 【到達目標】 ジャパンケーキショーへ見学に行き、全国のパティシエの技術を学ぶ			13	【授業単元】 社会人デビューに向けて（社会常識④敬語2） 【授業形態】 講義 【到達目標】 接遇用語 こんな時どうする？敬語活用実践編		
/				/			
6	【授業単元】 社会人デビューに向けて（プレゼンテーション1） 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 論理的な話し方が出来る/ピラミッドストラクチャーの作成 おススメの商品を効果的に紹介出来る（課題作成1）			14	【授業単元】 社会人デビューに向けて（効果的な自己紹介） 【授業形態】 講義 【到達目標】 好感を持たれる自己紹介のコツ		
/				/			
7	【授業単元】 社会人デビューに向けて（プレゼンテーション2） 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 論理的な話し方が出来る/ピラミッドストラクチャーの作成 おススメの商品を効果的に紹介出来る（課題作成2）			15	【授業単元】 定期試験 【授業形態】 演習 【到達目標】 定期試験		
/				/			
8	【授業単元】 社会人デビューに向けて（プレゼンテーション3） 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 論理的な話し方が出来る/ピラミッドストラクチャーの作成 おススメの商品を効果的に紹介出来る（課題発表）			【評価について】 評価は筆記試験にて実施。60点満点とする。 授業内で受講した知識の理解度を計る。 毎授業内では小テストを実施。40点満点とし、定期試験と合計して100点満点で評価を行う。 評価は、学則規定に準ずる。			
/							
【特記事項】 PCスキルと連携して実施します							

科目名 (英)	情報技術 Computer	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大島 和美
学科・コース	パティシエ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日 3時限
【授業の学習内容と心構え】 大学・専門学校・企業で、各種資格検定対策経験が豊富な有資格者の教員が、社会人として必要なPC技術を習得する授業を通じ、資格取得に有効な授業を行います。							
【到達目標】 社会へ出た際、どのようなジャンルの職種であっても、事務処理に困らないためのスキルとしてMicrosoft Office製品を使った文書作成や表計算、データの管理をを習得します。操作をマスターし、さらに機能の理解を深め、将来自分自身の仕事に役立つ使い方が出来るよう学習していきます。また今後の学生生活で必要となる資料作成や一般的な文書の作成が効率良く出来るようになりますので確実に習得しましょう。							
【使用教科書・教材・参考書】 学生便覧・その他各授業毎に指示				【授業外における学習			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】PC操作の基本（TeamsとOnlineWord基礎） 【授業形態】講義 【到達目標】 自身のPC環境と学校のネットワーク環境について理解し、授業データのDL、小テスト、課題の提出等、OneDrive等、必要な操作が出来る。			9	【授業単元】Excel（online）の基本操作 グラフ作成 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 どんな分析にどのようなグラフが必要かがわかる（棒フラフ・円グラフ・折れ線グラフ）入力したデータから簡単な操作でグラフを作成出来る		
/				/			
2	【授業単元】Word（online）の基本操作 【授業形態】講義 【到達目標】 Wordで文書を作成し編集・保存する事が出来る。 作成した文書の保存が出来る。			10	【授業単元】Word（online）の基本操作 2 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 表現力をアップする機能（画像の挿入と編集） 文書の印刷 表作成機能を活用する事が出来る		
/				/			
3	【授業単元】ビジネスメールの作成① 【授業形態】講義 【到達目標】 ビジネスメールのマナーとメールの作成・送受信・添付ファイル 1			11	【授業単元】ページ設定（用紙サイズ・余白・印刷の設定） 【授業形態】講義 【到達目標】 必要に応じて、用紙サイズや余白、印刷の向きを設定出来る。学習した機能を利用し、指定された各種はがきを作成出来る（販促・お知らせ） テンプレートを活用し効率よく文書を作成する事が出来る		
/	ビジネスメールのマナーと正しいレイアウトがわかりメールを			/			
4	【授業単元】ビジネスメールの作成② 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 気遣いのあるメールの文章を作成出来る/返信・転送のマナーがわかり、CC/BCCを理解し正しく活用する事が出来る			12	【授業単元】ページ設定（用紙サイズ・余白・印刷の設定） 【授業形態】講義 【到達目標】 必要に応じて、用紙サイズや余白、印刷の向きを設定出来る。学習した機能を利用し、指定された各種はがきを作成出来る（販促・お知らせ） テンプレートを活用し効率よく文書を作成する事が出来る		
/				/			
5	【授業単元】業界見学 【授業形態】講義 【到達目標】 ジャパンケーキショーへ見学に行き、全国のパティシエの技術を学ぶ			13	【授業単元】図形描画機能 【授業形態】講義 【到達目標】 図形描画機能がわかり、自由に操作が出来る。 学習した機能を利用し、簡略地図が作成出来る／館内案内図を作成出来る		
/				/			
6	【授業単元】Excel（online）の基本操作 【卒業制作】 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 入力と編集が出来る 書式設定が出来る			14	【授業単元】後期のまとめ 【授業形態】講義 【到達目標】 練習問題を実施しこれまでの習得を確認する事が出来る		
/				/			
7	【授業単元】Excel（online）の基本操作 【卒業制作】 【授業形態】講義 【到達目標】 卒業制作のレジュメの書式を理解し活用する事が出来る			15	【授業単元】定期試験 【授業形態】演習 【到達目標】 定期試験		
/				/			
8	【授業単元】Excel（online）の基本操作 表作成 【授業形態】講義 【到達目標】 四則演算が出来る 基本の関数を活用出来る（SUM/AVERAGE/MAX関数）表に桁区切りを設定出来る。表の書式を自由に変更する事が出来る （線の種類・セルの色・配置）			【評価について】 評価は筆記試験にて実施。60点満点とする。 授業内で受講した知識の理解度を計る。 毎授業内では小テストを実施。40点満点とし、定期試験と合計して100点満点で評価を行う。 評価は、学則規定に準ずる。			
【特記事項】 キャリア教育講座と連携し卒業制作を実施する							

科目名 (英)	製菓実習Ⅵ Traning for confection Ⅵ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	石田 英寛
学科・コース	パティシエ科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	90 (3)	開講区分 曜日・時間	後期 月曜日 1～3時限
【授業の学習内容と心構え】 洋菓子における基礎的作業を習得し基礎的技術を学び、応用に対応できる技術の向上をはかる。 パティシエとしてホテル、パテスリー、店舗等で製造、商品開発に永く携わってきた職員が専門的な基礎技術、知識、応用について授業を通じ、その重要性の確認と実行をもって実習とする。 実習がメインの授業の為遅刻、欠席、早退はなるべくせず授業に臨む。							
【到達目標】 デザイン性を高める科目を通じ、デザイン性の高いケーキの作り方を理解する 洋菓子の基礎技術の向上と、応用技術を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】 レシピ				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 基礎の確認と応用① 【授業形態】実習 【到達目標】 ドゥミセックを知り、伝統菓子の基礎を学ぶ			9	【授業単元】 卵の気泡性について② 【授業形態】実習 【到達目標】ロール生地で別立てを学び、米粉と小麦粉の違いを理解する		
10/2				12/4			
2	【授業単元】 基礎の確認と応用② 【授業形態】実習 【到達目標】 伝統菓子を通じ焼き菓子の基礎を学ぶ			10	【授業単元】 凝固剤について 【授業形態】実習 【到達目標】 ムースの特性を知ることによって応用を図る		
10/16				12/11			
3	【授業単元】 基礎の確認と復習③ 【授業形態】実習 【到達目標】 パートシュクレの特性を理解しタルトを作る			11	【授業単元】 乳製品について 【授業形態】実習 【到達目標】 クレームの特性を知ることによって応用を図る		
10/23				12/18			
4	【授業単元】 基礎の確認と復習④ 【授業形態】実習 【到達目標】 パートブリゼの特性を理解しタルトを作る			12	【授業単元】 基礎の確認と復習⑥ 【授業形態】実習 【到達目標】ババロワの特性を知ることによって応用を図る		
10/30				1/15			
5	【授業単元】 伝統菓子① 【授業形態】実習 【到達目標】 伝統菓子でのイーストの使い方を理解する			13	【授業単元】 基礎の確認と復習⑦ 【授業形態】実習 【到達目標】 ビエノワズリーを通じ商品構成の幅を広げる		
11/6				1/22			
6	【授業単元】 伝統菓子② 【授業形態】実習 【到達目標】 伝統菓子でのイーストの使い方を理解する			14	【授業単元】 基礎の確認と復習⑧ 【授業形態】実習 【到達目標】 小麦粉を使わない生地のガトーを理解する		
11/13				1/29			
7	【授業単元】 基礎の確認と復習⑤ 【授業形態】実習 【到達目標】ババロワの特性を知ることによって応用を図る			15	【授業単元】定期試験 【授業形態】実習 【到達目標】		
11/20				2/5	定期試験		
8	【授業単元】 卵の気泡性について① 【授業形態】実習 【到達目標】 ビスキュイジョコンドの起泡性などを理解する			【評価について】 評価について、14週の小テスト40点と期末テスト60点の合計100点で評価す 評価は学則規定に準ずる。			
11/27							
【特記事項】 授業時にメモ、質問等をし、集中して臨む。包丁を切れる状態にしておく。							

科目名 (英)	コラボレーション実習Ⅱ Traning for CollaborationⅡ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	酒井 久義
学科・コース	パティシエ科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	120 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 金曜日 1～4時限
【授業の学習内容と心構え】 洋菓子における基礎的作業を習得し基礎的技術を学び、応用に対応できる技術の向上をはかる。 パティシエとしてホテル、パテスリー、店舗等で製造、商品開発に永く携わってきた職員が専門的な基礎技術、知識、応用について授業を通じ、その重要性の確認と実行をもって実習とする。 実習がメインの授業の為遅刻、欠席、早退はなるべくせず授業に臨む。							
【到達目標】 1年次に身につけた力に加え応用実習を通じて、多種の生地、クリームを組み合わせた洋菓子製造工程を学び 創作菓子製造に向け応用力を身につけることができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 レシピ				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 発表・展示会に向けて① 【授業形態】 実習 【到達目標】 発表・展示会に向けた洋菓子・ピエスモンテ製造の問題解決ができるようになる			9	【授業単元】 発表・展示会に向けて⑨ 【授業形態】 実習 【到達目標】 発表・展示会に向けた洋菓子・ピエスモンテ製造の問題解決ができるようになる		
10/6				12/8			
2	【授業単元】 発表・展示会に向けて② 【授業形態】 実習 【到達目標】 発表・展示会に向けた洋菓子・ピエスモンテ製造の問題解決ができるようになる			10	【授業単元】 発表・展示会に向けて⑩ 【授業形態】 実習 【到達目標】 発表・展示会に向けた洋菓子・ピエスモンテ製造の問題解決ができるようになる		
10/13				12/15			
3	【授業単元】 発表・展示会に向けて③ 【授業形態】 実習 【到達目標】 発表・展示会に向けた洋菓子・ピエスモンテ製造の問題解決ができるようになる			11	【授業単元】 発表・展示会 【授業形態】 定期試験 【到達目標】 2年間の集大成として、洋菓子・ピエスモンテ製造の発表・展示会が開催できる。		
10/20				12/22	作品の完成をもって定期試験とする		
4	【授業単元】 発表・展示会に向けて④ 【授業形態】実習 【到達目標】 発表・展示会に向けた洋菓子・ピエスモンテ製造の問題解決ができるようになる			12	【授業単元】 基礎の復習と確認⑭ 【授業形態】実習 【到達目標】 基礎の組み合わせで応用の製品が製造できる		
10/27				1/12	オリジナル		
5	【授業単元】 発表・展示会に向けて⑤ 【授業形態】 実習 【到達目標】 発表・展示会に向けた洋菓子・ピエスモンテ製造の問題解決ができるようになる			13	【授業単元】 基礎の復習と確認⑮ 【授業形態】実習 【到達目標】 基礎の組み合わせで応用の製品が製造できる		
11/10				1/19	オリジナル		
6	【授業単元】 発表・展示会に向けて⑥ 【授業形態】 実習 【到達目標】 発表・展示会に向けた洋菓子・ピエスモンテ製造の問題解決ができるようになる			14	【授業単元】 基礎の復習と確認⑯ 【授業形態】実習 【到達目標】 基礎の組み合わせで応用の製品が製造できる		
11/17				1/26	オリジナル		
7	【授業単元】 発表・展示会に向けて⑦ 【授業形態】 実習 【到達目標】 発表・展示会に向けた洋菓子・ピエスモンテ製造の問題解決ができるようになる			15	【授業単元】 卒業制作ワンハートに向けて 【授業形態】 実習 【到達目標】 卒業制作ワンハートに向けて事前仕込みを行い、クラス全員での目標を達成させる。		
11/24				2/2			
8	【授業単元】 発表・展示会に向けて⑧ 【授業形態】実習 【到達目標】 発表・展示会に向けた洋菓子・ピエスモンテ製造の問題解決ができるようになる			【評価について】 評価について、14週の小テスト40点と期末テスト60点の合計100点で評価す 評価は学則規定に準ずる。			
12/1							
【特記事項】							

科目名 (英)	創作菓子実習Ⅱ creative confectionary trainingⅡ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	後藤 康敬
学科・コース	パティシエ科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	90 (3)	開講区分 曜日・時間	後期 火曜日 1～3時限
【授業の学習内容と心構え】 洋菓子における基礎的作業を習得し基礎的技術を学び、応用に対応できる技術の向上をはかる。 パティシエとしてホテル、パテスリー、店舗等で製造、商品開発に永く携わってきた職員が専門的な基礎技術、知識、応用について授業を通じ、その重要性の確認と実行をもって実習とする。 実習がメインの授業の為遅刻、欠席、早退はなるべくせず授業に臨む。							
【到達目標】 前期に身につけた力に加え応用実習を通じて、卒業制作に向けたピエスモンテの製造工程が習得できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 卒制に向けて① 【授業形態】 実習 【到達目標】 ピエスモンテの製造に向けての問題解決ができるようになる			9	【授業単元】 卒制に向けて⑧ 【授業形態】 実習 【到達目標】 ピエスモンテの製造に向けての問題解決ができるようになる		
10/3				11/28			
2	【授業単元】 卒制に向けて② 【授業形態】 実習 【到達目標】 ピエスモンテの製造に向けての問題解決ができるようになる			10	【授業単元】 卒制に向けて⑨ 【授業形態】 実習 【到達目標】 中間発表に向けてピエスモンテを完成させる		
10/11				12/5			
3	【授業単元】 【授業形態】 実習 【到達目標】 ヴァローナ			11	【授業単元】 卒制に向けて⑩ 【授業形態】 実習 【到達目標】 ピエスモンテの製造に向けての問題解決ができるようになる		
10/17				12/11			
4	【授業単元】 卒制に向けて③ 【授業形態】実習 【到達目標】 ピエスモンテの製造に向けての問題解決ができるようになる			12	【授業単元】 定期試験 【授業形態】 実習 【到達目標】 発表会・展示会の作品が完成できる		
10/24				12/19			
5	【授業単元】 卒制に向けて④ 【授業形態】実習 【到達目標】 ピエスモンテの製造に向けての問題解決ができるようになる			13	【授業単元】 基礎の復習と確認 【授業形態】実習 【到達目標】 基礎の組み合わせで応用の製品が製造できる		
10/31				1/16	オリジナル		
6	【授業単元】 卒制に向けて⑤ 【授業形態】実習 【到達目標】 ピエスモンテの製造に向けての問題解決ができるようになる			14	【授業単元】 基礎の復習と確認 【授業形態】実習 【到達目標】 基礎の組み合わせで応用の製品が製造できる		
11/7				1/23	オリジナル		
7	【授業単元】 卒制に向けて⑥ 【授業形態】実習 【到達目標】 ピエスモンテの製造に向けての問題解決ができるようになる			15	【授業単元】 基礎の復習と確認 【授業形態】実習 【到達目標】 基礎の組み合わせで応用の製品が製造できる		
11/14				1/30	オリジナル		
8	【授業単元】 卒制に向けて⑦ 【授業形態】実習 【到達目標】 ピエスモンテの製造に向けての問題解決ができるようになる			【評価について】 評価は、実技試験で行う。 授業内で受講した専門的な知識・技術の理解度、定着度を確認する。 毎授業内での小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点で評価する。 評価は、学則規定に準ずる。			
11/21							
【特記事項】							

科目名 (英)	商業ラッピング Wrapping	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	長尾 美津希
学科・コース	パティシエ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日 2時限
【授業の学習内容と心構え】 ビジネスの現場でお客様の満足度を高めるサービスの内容を考える時、ギフトラッピングサービスはとても重要な位置にあります。いつの時代でも人と人を繋ぐ大切なツールなのです。当授業では「ギフトラッピングを正しく理解し、実践で活用できる」ことを目標とします。その為、基本のラッピング技術、それに伴うしきたりの知識を中心にカラーやディスプレイ対応等幅広くお伝えします。商業ラッピング技術向上の為、企業・大学・専門学校で講演に従事している専門の知識を持った講師が教鞭をとります。							
【到達目標】 (1)ビジネスの現場で必要とされるラッピングの基礎技術を習得する。 (2)しきたりの基礎を習得する。 商業ラッピング検定試験を受けて技術資格を得る。(3)							
【使用教科書・教材・参考書】 商業ラッピング3級テキスト				【授業外における学習】 ラッピング技術は練習すればするほど上達します、復習を兼ねて常に練習をお願いします。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】商業ラッピングについて 【授業形態】講義・実習 【到達目標】 ・ビジネスのなかで商業ラッピングの役割を学ぶ ラッピングに必要な道具や資材の説明 ギフト箱の組み立て・名称・役割について			9	【授業単元】ラッピング検定対策 【授業形態】講義・実習 【到達目標】 筆記対象の模擬試験の実施 ・合わせ包みと斜め包みの復習		
2	【授業単元】「合わせ包み」の基本タイプを包む 【授業形態】講義・実習 【到達目標】 前回の授業内容の確認 合わせ包み基本タイプについて ・紙取り、カッターナイフの使い方・包むポイント			10	【授業単元】ラッピング検定対策 【授業形態】講義・実習 【到達目標】 ・模擬試験の結果とのポイントの確認 ・斜め包みとのし紙の復習。リボン掛け方結び方の確認。		
3	【授業単元】「合わせ包み」の正方形・薄型箱タイプを包む 【授業形態】講義・実習 【到達目標】 前回の授業内容の確認 合わせ包み薄型箱・正方形タイプについて ・紙取り、包むポイント			11	【授業単元】ラッピング検定対策 【授業形態】講義・実習 【到達目標】 合わせ包みと斜め包み復習と時間内に包む練習。		
4	【授業単元】合わせ包みとリボン 【授業形態】講義・実習 【到達目標】 前回の授業内容の確認 ・リボンを学ぶ(掛け方の種類、蝶結び、名称等) ・合わせ包みの基本を包む(リボンを掛ける箱)			12	【授業単元】ラッピング検定3級試験 【授業形態】 【到達目標】 商業ラッピング3級検定試験を受けて資格を得る。		
5	【授業単元】斜め包みについて 【授業形態】講義・実習 【到達目標】 前回の授業内容の確認 ・合わせ包みにリボンを掛ける復習 ・斜め包みついて学ぶ(紙取り、包み方)			13	【授業単元】ラッピング応用 【授業形態】講義・実習 【到達目標】 合わせ包みの応用で「リバーシブル」、表裏のリボンで結ぶ。 斜め包み復習		
6	【授業単元】斜め包み(処理なし) 【授業形態】講義・実習 【到達目標】 前回の授業内容の確認 ・斜め包み(処理なし)を包む ・のし紙を掛ける(種類と掛け方)			14	【授業単元】定期試験対策 【授業形態】講義・実習 【到達目標】 定期試験の内容に合わせてラッピング技術を確認し、復習をする。		
7	【授業単元】斜め包み(処理有り) 【授業形態】講義・実習 【到達目標】 前回の授業内容の確認 ・斜め包み(処理有り)			15	【授業単元】定期試験 【授業形態】試験の実施 【到達目標】 定期試験は「筆記(20分)」・「実技(30分)」で実施し、時間内に各内容が達成できることを目標とします。		
8	【授業単元】斜め包み復習と理論1 【授業形態】講義・実習 【到達目標】 前回の授業内容の確認(斜め包み復習) ・理論1としきたりを学ぶ			【評価について】 実技は、基本のラッピング技術が理解できているかの確認。 筆記は、しきたりの基礎知識を理解しているかの確認。筆			
【特記事項】							